

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌、扁平上皮癌	
	タイプ	レビュー	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Principles of management of basal and squamous cell carcinoma of the skin.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	B C C C Q 1 1 - 4	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ II ）	
	Pubmed ID	7804997	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	75	
	号		
	ページ	699-704	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Fleming ID	テネシー大学
その他著者 1		Amonette R	同上
その他著者 2		Monaghan T	同上
その他著者 3		Fleming MD	同上
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の 6 項目	目的	皮膚基底細胞癌および扁平上皮癌の治療に関するレビューを行う。
	データソース	記載なし
	研究の選択	記載なし
	データ抽出	記載なし
	主な結果	5 年無再発生存率 切除術：89.9%、Mohs 手術：99.0%、放射線療法：91.3% 切除術：最も多く用いられる治療法。最低 5 mm 以上のマージンを付けて切除。 Mohs 手術：（利点）局所制御率が高い。局所麻酔で施行可能、安価。（欠点）再建が必要となる可能性がある、単純切除より高価。 放射線療法：（利点）麻酔不要、鼻や目などにも適応可能、高齢者にも適応可能、大きな病変にも適応可能。（欠点）高価、断端を評価できない、発癌性。 リンパ節転移例では、手術と放射線療法が行われる。
	結論	単純切除、Mohs 手術、放射線療法それぞれに利点と欠点があり、両者を理解して治療法を選択する必要がある。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	鹿間 直人
	レビューワーコメント	治療法全体を見渡したわかりやすいレビュー。厳密にはシステマティック・レビューではないが、詳細に検討されており、それに準ずるものと評価した。 レベル I